

集中治療部（ICU）がおすすめする初期臨床研修プラン

集中治療医は、さまざまな疾患の重症患者の治療にあたるため、疾患に関する幅広い知識が求められるだけでなく、人工呼吸器、補助循環装置や血液浄化機器などを用いた特殊治療にも精通する必要があります。そのため、将来的に集中治療専門医を目指すには、現在の専門医制度ではまず麻酔科専門医や救急科専門医など他の専門医を一つ持つ必要があります。また集中治療医を目指さなくとも、緊急時の対応、全身管理など、医師として必要なスキルを身につけるのに ICU での研修が重要です。

1. 研修病院の選択

大学病院の ICU では、さまざまな重症患者が入室するため、入室時の病態の把握から、それに対応する最適な治療をスピーディーに行うためのスキルを身につけられるよう、実践的なトレーニングを行います。また、院内急変対応などの pre-ICU の役割、呼吸サポートチーム（RST）や ICU 退室後回診などを通じた post-ICU の役割のニーズも高まっており、実際に関わることで集中治療や重症患者の管理を身につけることができるようになります。

大学病院のほかに、現在、ICU としての教育関連施設はありません。したがって、他医療機関での研修中にも大学病院の ICU での研修を積極的に受け入れています。また、集中治療は救急医療と重なる部分も大きいため救命救急センターのある研修病院を選択するのもよいでしょう。

2. 集中治療医になるために研修が望ましい診療科

将来的に集中治療専門医を目指すのであれば、他の専門医を取得する必要があります。これは内科や外科の専門医でも構いませんが、診療内容がより近いのは麻酔科や救急科なので、麻酔科専門医や救急科専門医を取得するための研修がより望ましいでしょう。